

【平成30年 2月度】

○浜北環境センター維持管理の状況に関する情報

施設区分 一般廃棄物最終処分場

■埋立一般廃棄物の種類及び数量

対象期間 平成30年2月1日～平成30年2月28日

廃棄物の種類	処理量	単位
焼却灰	0	t/月
不燃破砕物	0	t/月
側溝汚泥	5.43	t/月
脱水汚泥	1.15	t/月
計	6.58	t/月

■残容量調査(測量データ)

単位 m³

調査年月	最終覆土量	残廃棄物量	合計
平成25年3月	11,693	21,745	33,438
平成26年3月	11,693	21,240	32,933
平成27年3月	11,693	20,681	32,374
平成28年3月	11,693	20,321	32,014
平成29年3月	11,693	20,242	31,935

■施設の点検

対象期間 平成30年2月1日～平成30年2月28日

	擁壁等	遮水工	雨水調整池	浸出水処理施設	防凍措置
点検実施年月日	平成30年2月26日	平成30年2月26日	平成30年2月26日	平成30年2月26日	該当なし
点検方法	目視	遮水機能診断システム	目視	目視等	該当なし
異常等の有無	無	無	無	無	
点検結果に係る措置	無	無	無	無	

■水質検査の実施状況と措置

対象期間 平成30年2月1日～平成30年2月28日

採取場所	観測井戸NO.1(上流)	観測井戸NO.2(下流)	観測井戸NO.3(公園)	処理水槽	処理水槽
採取種類	地下水	地下水	地下水	放流水	放流水
採取年月日	平成30年2月6日	平成30年2月6日	平成30年2月6日	平成30年2月6日	平成30年2月19日
検査結果取得年月日	平成30年2月20日	平成30年2月20日	平成30年2月20日	平成30年2月20日	平成30年2月27日
電気伝導度	8.1mS/m	13.9mS/m	4.3mS/m		
水素イオン濃度	5.6	6.2	6.4	7.6	8.0
BOD				1.4mg/l	1.4mg/l
SS				1mg/l未満	1mg/l未満
鉱物油類				0.5mg/l未満	0.5mg/l未満
動植物油類				0.5mg/l未満	0.5mg/l未満
よう素消費量				1mg/l	3mg/l未満
判定	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし

○浜北環境センター維持管理の状況に関する情報

付表1.放流水採水結果全項目(4回/年)

mg/L

水質検査項目	放流水				原水	基準値 (以下)
	H29.5.8	H29.8.4	H29.11.9	H30.2.6	H29.11.9	
pH	7.4	7.2	8.3	7.6	8	5.8~8.6
BOD	<0.5	0.6	<0.5	1.4	26	60
SS	<1	<1	<1	<1	3.6	60
不揮発性鉱物油類	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	5
不揮発性動植物油脂類	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	30
よう素消費量	4	4	3	1	26	220
DO	—	—	—	—	—	—
大腸菌群数	—	—	—	—	—	—
カドミウム及びその化合物	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
シアン化合物	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
有機磷	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
六価クロム	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.5
砒素及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
アルキル水銀化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	ND
ポリ塩化ビフェニル	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003
フェノール類含有量	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.07	5
銅含有量	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	3
亜鉛含有量	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	2
溶解性鉄含有量	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	10
溶解性マンガン含有量	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	10
クロム含有量	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	2
ほう素及びその化合物	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	10
ふっ素及びその化合物	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	8
トリクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
テトラクロロエチレン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1
ジクロロメタン	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
四塩化炭素	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
1,2-ジクロロエタン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
1,1-ジクロロエチレン	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	1
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	3
1,1,2-トリクロロエタン	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
1,3-ジクロロプロペン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
チウラム	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
シマジン	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
チオベンカルブ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
ベンゼン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
セレン及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
窒素含有量	14	12	5.2	9.3	20	—
アンモニア性窒素	1.4	1.7	0.002	0.56	9.7	—
亜硝酸性窒素	7.8	7	3.8	7.9	0.7	—
硝酸性窒素	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	—
塩化物イオン	—	—	1300	—	5,000	—
1,4-ジオキサン	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.5
COD (Mn)	12	12	6.6	6.6	43	—